

フィリピン共和国
農民参加によるマージナルランドの
環境及び生産管理計画

事前調査団報告書
短期調査員報告書
討議議事録等

平成 12 年 1 月

国際協力事業団

序 文

フィリピン共和国政府は、同国の農地の90%を占めるマージナルランド（土壌的・地形的な限界農地）に適した農業技術の開発と普及を目的として、我が国に「フィリピン農民参加によるマージナルランドの環境及び生産管理計画」に関するプロジェクト方式技術協力を要請してきました。

国際協力事業団はこの要請を受けて、平成11年8月17日から同26日まで、農林水産省北海道農業試験場生産環境部部長 尾和尚人氏を団長とする事前調査団を現地に派遣し、本プロジェクトの要請背景等について、フィリピン政府関係者と協議及び現地調査を行いました。

さらに、前記調査報告を踏まえ、本プロジェクトの開始に必要な現地調査及びフィリピン政府関係者との協議を行う目的で、平成11年11月23日から12月9日まで、旭チッソ株式会社技術顧問 安田環氏ら5名の短期調査員を現地に派遣しました。

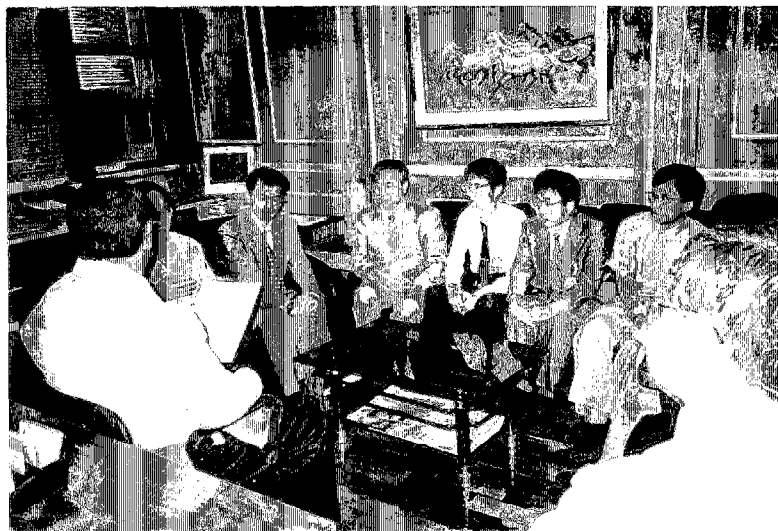
以上の調査結果を受けて平成12年1月12日、当事業団フィリピン事務所所長 小野英男はフィリピン農業省次官 C.M.DRILON JR.氏との間で討議議事録（R / D）等、関係文書の署名を取り交わし、本プロジェクトは平成12年2月1日から5年間にわたり、実施されることになりました。

本報告書は上記の各調査・協議結果を取りまとめたものであり、今後本プロジェクトの実施にあたり、広く活用されることを願うものです。

終わりに、この調査にご協力と御支援を頂いた内外の関係各位に対し、心から感謝の意を表します。

平成12年1月

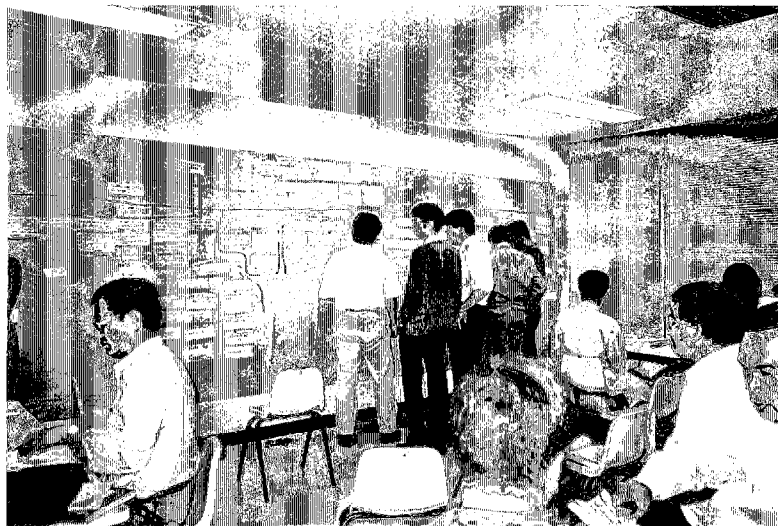
国際協力事業団
理事 後藤 洋



農業大臣（左）との面談
（事前調査）



協議（短期調査）



目的分析のためのワークショップ
（事前調査）



ブラカン・テクノデモファーム候補地



ブラカン土壌・水資源研究開発センター



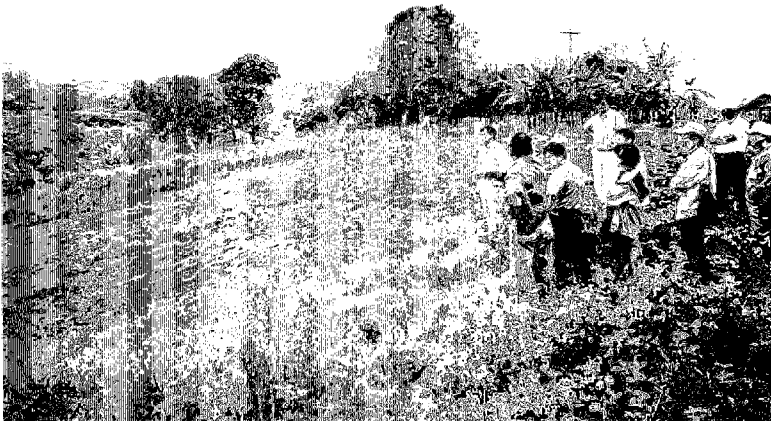
タナイ土壌・水資源研究開発センター（模型）



タナイ・テクノデモファーム
候補地



ブキドノンセンターとなる予定の
建物と敷地（北部ミンダナオ総
合農業研究センターに隣接）



ブキドノン・テクノデモファーム
候補地（ニンジンを植えた後）

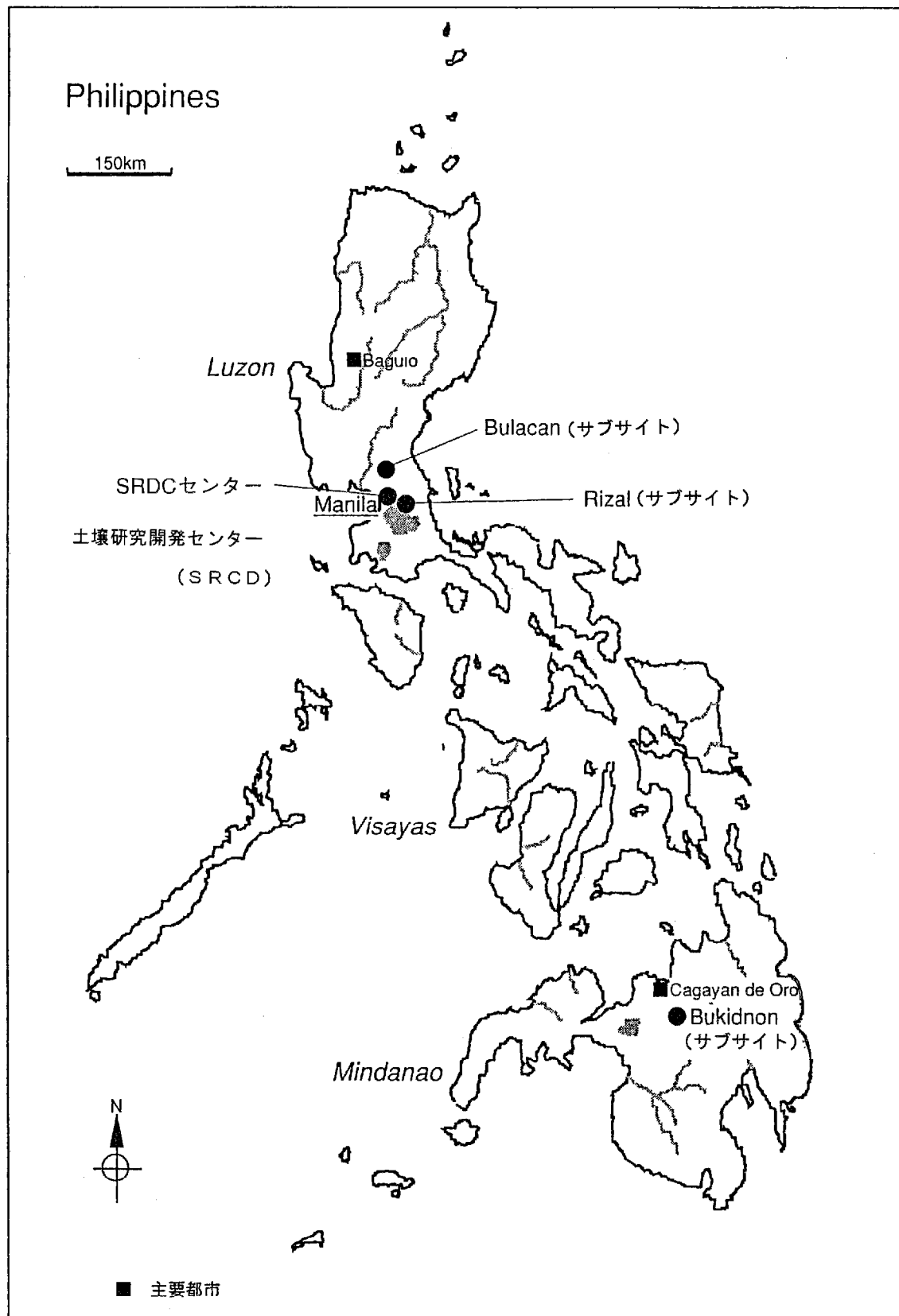


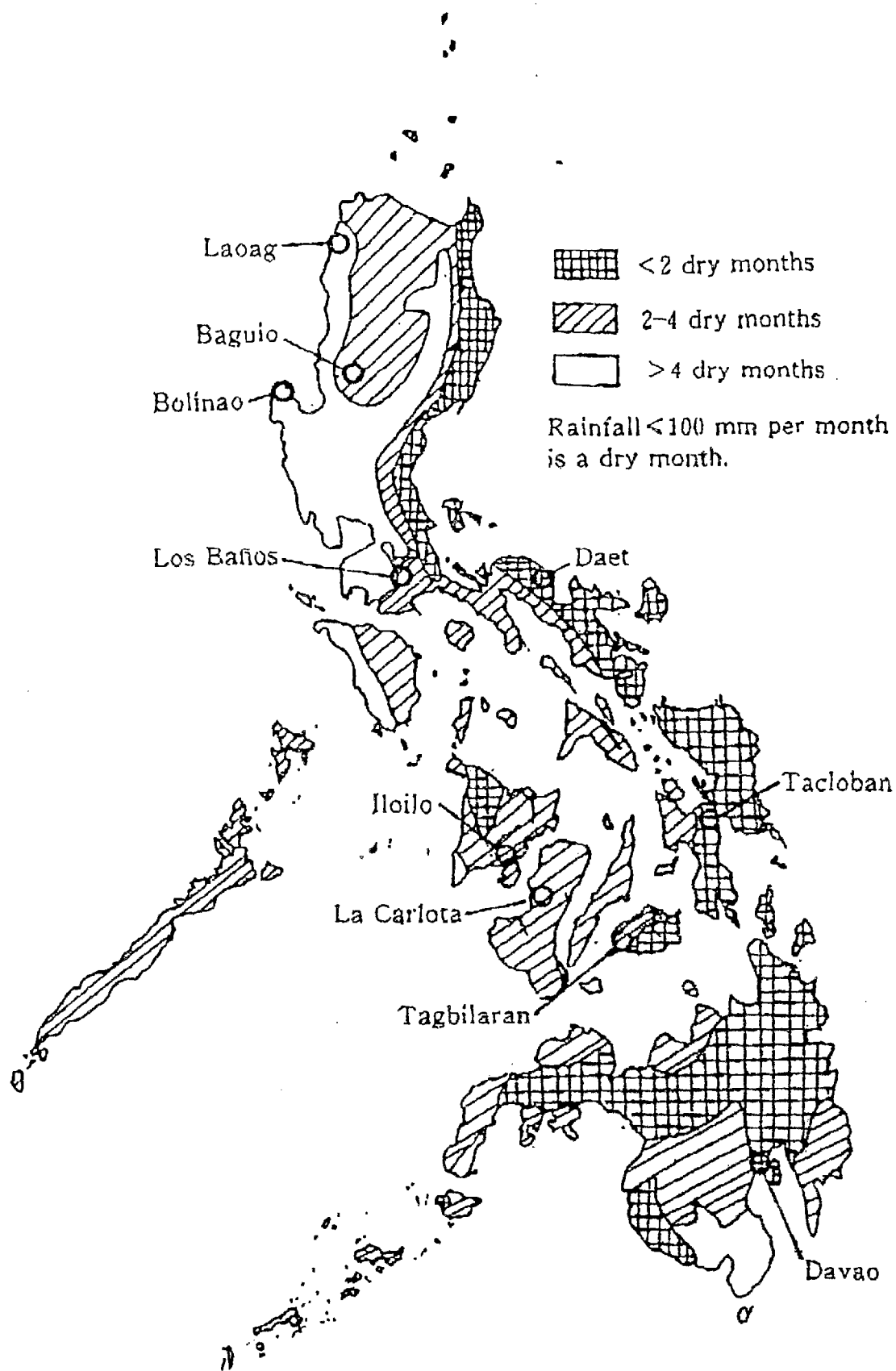
タナイ テクノデモファーム (99年12月)



タナイ テクノデモファームでの集会

「フィリピン・農民参加によるマージナルランドの環境及び生産管理」
プロジェクト・サイト（テクノデモファーム候補地）位置図





Source of map : IRRI

フィリピンの気候図

略語集

B S W M	農業省土壌・水管理局
S R D C	土壌研究開発センター
D A R	農地改革省
N O M I A R C	北部ミンダナオ総合農業研究センター
T D F	テクノデモファーム / 技術展示園
N E D A	国家経済開発庁
D A	農業省
C / P	カウンターパート

総 目 次

序 文

写 真

地 図

略語集

総目次

第 部 事前調査団報告書

1．事前調査団の派遣	1
2．要約	6
3．調査活動の概要	10
4．プロジェクトの背景・位置づけ	18
5．協力要請分野の現状と問題点	22
6．PCMワークショップの結果	27
7．プロジェクトの基本計画（案）	31
8．フィリピン側の実施体制	45
9．日本側の投入計画（案）	50

第 部 短期調査員報告書

1．短期調査員の派遣	55
2．要約	59
3．担当分野別報告	62
4．フィリピン側への要請事項	78

付属資料	79
------------	----

第 部 討議議事録等

はじめに	223
1．討議議事録（R / D）	225
2．暫定実施計画（TSI）	245
3．ミニッツ	248